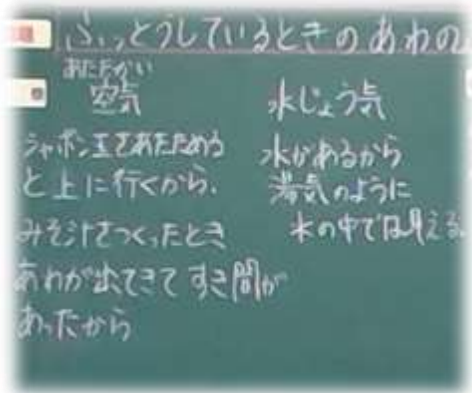


# 授業のポイント



## ①既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想を発想する



自然の事物・現象と既習の内容や生活経験を関係付けながら根拠のある予想を発想することで、第4学年で重点を置く問題解決の力を育成することができました。

## ②予想を基に、実験結果の見通しをもたせる指導の工夫



エアポンプの空気を集める様子を事前に動画で撮影しておき、提示することで、泡の正体が空気である場合は袋が膨らむことなど、実験方法や予想に基づいた結果の見通しをもつことができました。

# 参考資料(板書、教具等)



## 確かな事実を得る実験器具の工夫



ストローを半透明のシリコン管に変えることで、泡を集めて冷やすと水になる事実を確実に確かむことができようになりました。

## ICTの活用



水を長時間加熱すると大量の水が溜まる様子をタイムラプスで撮影しておき、提示することで、実感を伴った理解につなげることができました。